

総合病害防除剤

キンセツト[®]

水和剤 80

細かい粒子パワー^①で、
細菌から作物を
しっかりガード!

幅広い効果が得られ、
耐性菌の心配がほとんどありません。
かぶれの心配もなく、薬害の少ない理想的な銅剤。



アグロ カネショウ株式会社

東京都港区赤坂4-2-19

®はアグロ カネショウ(株)の登録商標

キンセツ® 水和剤 80

毒性: 普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
成分: 有機銅60.0%・水酸化第二銅20.0%

■適用作物と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数 又は使用量	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	銅を含む 農薬の総 使用回数	有機銅を 含む農薬の 総使用回数	
みかん	かいよう病 そうか病	1000~1600倍		収穫30日前まで	5回以内	散布	-	5回以内	
かんきつ (みかんを除く)					3回以内			3回以内	
りんご	斑点落葉病 輪紋病 褐斑病 炭疽病	1000~1200倍		収穫14日前まで	4回以内			7回以内 (塗布は3回以内、 散布は4回以内)	
なし					輪紋病 黒星病			200~700ℓ /10a	9回以内
おうとう	せん孔病	1000倍		収穫終了後~ 落葉樹まで					
もも	せん孔細菌病 縮葉病	1000倍		収穫後~開花 直前まで 但し、収穫60日 前まで	5回以内			8回以内 (塗布は3回以内、 散布は5回以内)	
ネクタリン	せん孔細菌病			収穫後~開花 直前まで				5回以内	
麦類 (小麦を除く)	紅色雪腐病 雪腐小粒菌核病	400倍	100~200ℓ /10a	根雪前	2回以内				2回以内
小麦	紅色雪腐病	乾燥種子 重量の0.5%	-	は種前	1回			種子粉衣 (乾粉衣)	5回以内 (種子への処 理は1回以内)
	紅色雪腐病 条斑病	乾燥種子 重量の1%						種子粉衣 (湿粉衣)	
	紅色雪腐病 雪腐小粒菌核病	400倍	100~200ℓ /10a	根雪前					
レタス	眼紋病	400~800倍	60~150ℓ/10a	収穫60日前まで	5回以内	散布	5回以内		
ばれいしょ	軟腐病	1000~1500倍	100~300ℓ /10a	収穫21日前まで	3回以内				
たまねぎ		1000~1400倍		収穫14日前まで					
だいこん				収穫21日前まで					
にんにく		春腐病		1000倍	収穫7日前まで			5回以内	

平成26年11月17日現在

⚠ 薬効・薬害等の注意事項

- 石灰硫黄合剤との混用はさけてください。
- かんきつに使用する場合は、軽度の薬害(スターメラノース)を生ずることもありますが、その後の生育に対する影響は認められていません。
- ももに使用する場合は、以下の事項に注意してください。
 - ①せん孔細菌病防除に使用する場合には、薬害を生ずるおそれがあるので、薬害軽減のため炭酸カルシウム剤の所定量を添加してください。
 - ②縮葉病防除に使用する場合には、発芽直前及び開花直前にかけむらのないように樹全体に十分散布してください(休眠期散布)。展葉後は薬害のおそれがあるので散布しないでください。
- りんご、おうとう及びネクタリンに使用する場合は、薬害を生ずるおそれがあるので、薬害軽減のため炭酸カルシウム剤の所定量を添加してください。
- 炭酸カルシウム剤の所定量の添加は薬害軽減に有効であるが、かんきつ、りんご、なし等果実の収穫間際には果実に汚れを生ずるので留意してください。
- なしの病害防除に使用する場合は、高温時に連続散布をすると葉や果実に薬害(ネクロシス、サビ果等)を生ずるおそれがあるので注意してください。
- 本剤をりんごの病害防除に使用する場合は、サビ果の発生を多くすることがあるので、落花直後から落花20日頃までの使用はさけてください。また樹勢の良くない状態などで連続散布すると生理落葉を助長することがあるので注意してください。特にゴールデン及びゴールデンからの育成品種では注意してください。
- ばれいしょ、たまねぎ、だいこん、レタスの軟腐病に使用する場合は、発病後の散布では効果が劣るので発病前~発病初期から予防的に散布してください。
- レタス及びだいこんに使用する場合は、幼苗期や高温時の散布では薬害を生じやすいのでその時期の使用をさけてください。また、連続散布すると葉が黄化したり硬化したりすることがあるので過度の連用はさけてください。
- 麦類の雪腐病の防除に使用する場合は、なるべく根雪近くの晴天の日を選んで散布してください。
- 小麦の眼紋病の防除に使用する場合は、高温時や葉身が軟弱に生育している状態で散布すると葉身先端部に薬害が生ずることがあるので留意してください。

- 小麦の種子消毒に使用する場合は、以下の事項に注意してください。
 - ①種子粉衣(乾粉衣)の場合は播種前に適当な容器の中で本剤の所定量が均一に乾燥種子につくように少量ずついいねいまぶしてください。
 - ②種子粉衣(湿粉衣)の場合はあらかじめ種子をしめらせて種子乾粉衣と同様に処理してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲、誤食などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 粉末は眼に対して強い刺激性があるので、薬液調製時及び種子粉衣の際には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 使用の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗顔してください。
- 魚毒性…水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼす恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用は避けてください。
- 水産動植物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管…密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所に保管してください。

●使用前にラベルをよく読んでください ●ラベルの記載以外には使用しないでください ●小児の手の届く所には置かないでください ●空袋は農場などに放置せず、適切に処理してください